

# 東通原子力発電所温排水影響調査 海洋生物調査（イカナゴ）（要約）

竹谷裕平

## 目 的

東北電力東通原子力発電所の温排水が周辺海域の主要魚種であるイカナゴに与える影響を把握するため、漁獲動向調査、標本船調査、仔魚分布調査を行った。なお、本調査は、青森県の原子力発電所温排水影響調査事業の一環として実施した。

## 材料と方法

### 1. 漁獲動向調査

白糠漁業協同組合及び泊漁業協同組合からイカナゴ漁獲量を聴き取りした。

### 2. 標本船調査

平成 26 年 4 月～6 月に白糠漁業協同組合及び泊漁業協同組合に所属する光力利用敷網漁船 8 隻を標本船とし、東通村尻労沖から六ヶ所村高磯崎沖のイカナゴ漁場を 10 海域に分けて漁獲量を集計した。

### 3. 仔魚分布調査

平成 26 年 2 月～4 月各月 1 回、白糠・泊地区周辺海域の 10 地点において、試験船開運丸によるボンゴネットによる水深 0～50m の往復傾斜曳を約 10 分間行い、仔魚の分布密度を調査した。

## 結 果

### 1. 漁獲動向調査

平成 26 年の両漁協のイカナゴ漁獲量は 0 トンと、皆無であった（図 1）。

### 2. 標本船調査

前述のとおり、全海域において漁獲が無かった。

### 3. 仔魚分布調査

平成 26 年のイカナゴ仔魚平均分布密度は 0.6 個体/100m<sup>3</sup> で、平成 25 年の 2.5 個体/100m<sup>3</sup> よりも低い値であった。（図 2）。

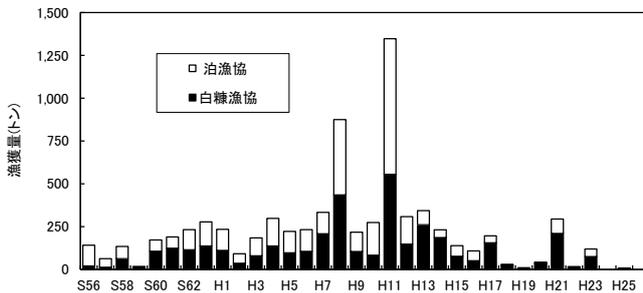


図 1. 白糠漁協と泊漁協のイカナゴ漁獲量

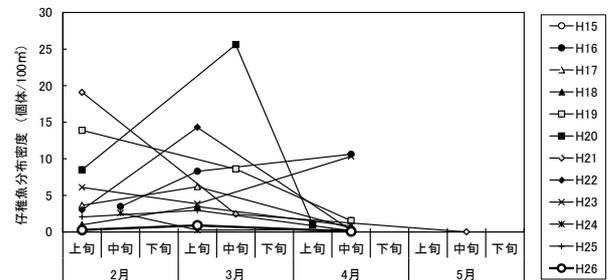


図 2. イカナゴ仔魚の推定分布密度

発表誌：東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書（平成 26 年度第 1 四半期報）. 青森県，平成 26 年

11 月